

## 「広島平和の旅」 報告集発行にあたって

西東京市は、平成 13 年（2001 年）1 月 21 日、旧田無市と旧保谷市との合併と同時に、「西東京市平和推進に関する条例」を制定しました。翌年の平成 14 年（2002 年）1 月 21 日には、「非核・平和都市宣言」を行い、毎年 4 月 12 日の「西東京市平和の日」をはじめとした様々な機会に、戦争体験を次世代に継承する取り組みや、平和の意義を考えていく事業を行っています。

被爆都市へ公募市民と共に訪問する事業は、平和事業の推進・啓発活動の一環として、平成 13 年度（2001 年度）から実施しています。

広島・長崎への原爆投下、そして終戦から 74 年が経過しました。戦争を知る世代が次第に少なくなり、戦争の記憶が薄れることが危惧されています。

今年は合計 5 人の市民の方々が広島を訪れました。平和記念式典への参列をはじめ、原爆ドームや平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話等を通して、原爆や戦争がもたらす悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについての理解を深め、この時期に広島を訪れることの意味を改めて考えるなど、多くの体験を持ち帰りました。

この報告集は、旅の様子や参加者の皆さんが得たことを多くの方に共有していただけるよう纏めたものです。この報告集が、平和を考えるきっかけになれば幸いです。

令和元年 8 月

西東京市

## 平和宣言

今世界では自国第一主義が台頭し、国家間の排他的、対立的な動きが緊張関係を高め、核兵器廃絶への動きも停滞しています。このような世界情勢を、皆さんはどう受け止めますか。二度の世界大戦を経験した私たちの先輩が、決して戦争を起こさない理想の世界を目指し、国際的な協調体制の構築を誓ったことを、私たちは今一度思い出し、人類の存続に向け、理想の世界を目指す必要があるのではないのでしょうか。

特に、次代を担う戦争を知らない若い人にこのことを訴えたい。そして、そのためにも1945年8月6日を体験した被爆者の声を聴いてほしいのです。

当時5歳だった女性は、こんな歌を詠んでいます。

「おかつぱの 頭(づ)から流るる血しぶきに 妹抱(いだ)きて 母は阿修羅(あしゅら)に」また、「男女の区別さえ出来ない人々が、衣類は焼けただれて裸同然。髪の毛も無く、目玉は飛び出て、唇も耳も引きちぎられたような人、顔面の皮膚も垂れ下がり、全身、血まみれの人、人。」という惨状を18歳で体験した男性は、「絶対にあのようなことを後世の人たちに体験させてはならない。私たちのこの苦痛は、もう私たちだけでよい。」と訴えています。

生き延びたものの心身に深刻な傷を負い続ける被爆者のこうした訴えが皆さんに届いていますか。

「一人の人間の力は小さく弱くても、一人一人が平和を望むことで、戦争を起こそうとする力を食い止めることができると信じています。」という当時15歳だった女性の信条を単なる願いに終わらせてよいのでしょうか。

世界に目を向けると、一人の力は小さくても、多くの人々の力が結集すれば願いが実現するという事例がたくさんあります。インドの独立は、その事例の一つであり、独立に貢献したガンジーは辛く厳しい体験を経て、こんな言葉を残しています。

「不寛容はそれ自体が暴力の一形態であり、真の民主的精神の成長を妨げるものです。」現状に背を向けることなく、平和で持続可能な世界を実現していくためには、私たち一人一人が立場や主張の違いを互いに乗り越え、理想を目指し共に努力するという「寛容」の心を持たなければなりません。そのためには、未来を担う若い人たちが、原爆や戦争を単なる過去の出来事と捉えず、また、被爆者や平和な世界を目指す人たちの声や努力を自らのものとして、たゆむことなく前進していくことが重要となります。

そして、世界中の為政者は、市民社会が目指す理想に向けて、共に前進しな

ければなりません。そのためにも被爆地を訪れ、被爆者の声を聴き、平和記念資料館、追悼平和祈念館で犠牲者や遺族一人一人の人生に向き合ってください。

また、かつて核競争が激化し緊張状態が高まった際に、米ソの両核大国の間で「理性」の発露と対話によって、核軍縮に舵(かじ)を切った勇気ある先輩がいたということを思い起こしていただきたい。

今、広島市は、約7,800の平和首長会議の加盟都市と一緒に、広く市民社会に「ヒロシマの心」を共有してもらうことにより、核廃絶に向かう為政者の行動を後押しする環境づくりに力を入れています。世界中の為政者には、核不拡散条約第6条に定められている核軍縮の誠実交渉義務を果たすとともに、核兵器のない世界への一里塚となる核兵器禁止条約の発効を求める市民社会の思いに答えていただきたい。

こうした中、日本政府には唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めていただきたい。その上で、日本国憲法の平和主義を体現するためにも、核兵器のない世界の実現に更に一步踏み込んでリーダーシップを発揮していただきたい。また、平均年齢が82歳を超えた被爆者を始め、心身に悪影響を及ぼす放射線により生活面で様々な苦しみを抱える多くの人々の苦悩に寄り添い、その支援策を充実するとともに、「黒い雨降雨地域」を拡大するよう強く求めます。

本日、被爆74周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。

令和元年（2019年）8月6日

広島市長 松井 一實

## 平和への誓い

私たちは、広島町が大好きです。  
ゆったりと流れる川、美しい自然、  
「おかえり。」と声をかけてくれる地域の人、  
どんなときでも前を向いて生きる人々。  
広島には、私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年（1945年）8月6日。  
あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡骸、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。  
大好きな町の「悲惨な過去」です。  
被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。

私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、  
次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。  
「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままに終わらせないために。  
二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、  
違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。  
みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう。」や「ごめんね。」の言葉で認め合い許し合うこと、  
寄り添い、助け合うこと、  
相手を知り、違いを理解しようと努力すること。  
自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、  
互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。  
意志をもって学び続けます。  
被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

令和元年（2019年）8月6日

こども代表 広島市立落合小学校 6年 金田 秋佳  
広島市立矢野小学校 6年 石橋 忠大

## 参加者・旅程・事前学習会・旅先での様子

### 参加者

○中村 玲子さん ○藤原 和子さん ○浅野 通代さん  
○中村 レイさん ○藤原 さくらさん

計5人

### 旅程

○1日目 8月5日(月)

時間	内容
08:30	東京駅より新幹線で広島へ
12:31	広島駅到着
13:20	原爆ドーム、爆心地、原爆の子像、平和記念資料館見学
17:00	被爆体験者による講話

○2日目 8月6日(火)

時間	内容
08:00	平和記念式典参列、献花
09:00	平和記念公園、本川小学校平和資料館見学
14:17	広島駅より新幹線で東京へ
18:13	東京駅到着 解散

### 事前学習会

7月25日の午前10時から、広島平和の旅がより意義深いものになるように、西東京市役所田無庁舎で事前学習会を行いました。

旅の主旨、行程、報告会等についての説明に加え、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」の藤川さん、穂坂さんを講師にお招きし、本の朗読などを交えながら、広島と長崎に落とされた原爆について話していただきました。

### 旅先での様子

○1日目

#### 広島へ出発

8月5日月曜日の朝、参加者一同は通勤、通学客で賑わう東京駅に集合した後、新幹線で広島へ向かいました。予想される厳しい暑さの対策を考えながらも、これから広島で出会うことに期待を膨らませている様子でした。

#### 原爆ドーム等の見学

広島の高い陽射しに出迎えられた後、滞在先のホテルに荷物を預け、路面電車で平和記念公園へと向かいました。ホテル、路面電車、平和記念公園、まちの至るところで翌日に行われる平和記念式典に参加するために来訪した人々と出会い、陽射しだけではなく多くの来訪者の熱気と喧騒から、広島の特異な1日の訪れを肌で感じる事ができました。

原爆ドームの存在感に圧倒され、爆心地で爆発の瞬間を思い、原爆の子の像では、全国各地から送られてくる折り鶴に込められた祈りを感じながら、それぞれの思いを胸に鐘を鳴らし、祈りを捧げました。

今年4月に新たな展示が公開された広島平和記念資料館は、原爆投下時の再現映像、膨大な資料、遺品、被爆者や遺族の言葉などにより、被害の凄惨さや核兵器の罪深さ、被爆の実相を来館者へ強く訴えかけ、参加者は真摯に受け止めていました。



### 被爆体験者による講話

広島平和記念資料館の見学後は、滞在先のホテルに戻り、「原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会」の切明千枝子さんの被爆体験談をお伺いしました。

(※ 切明千枝子さんの被爆体験談は次ページに詳細を載せています。)

## 〇2日目

### 平和記念式典への参列

翌6日は朝から曇り空が広がり、平和記念式典が開始される頃には雨が降り始めました。原爆死没者名簿奉納後、原爆が投下された午前8時15分に平和への祈りと被爆者への慰霊の念を込めて、5万人を超える参列者と共に黙とうを捧げました。

式典後は、犠牲となった方々の冥福と平和への願いを込めて、参加者一同で慰霊碑に献花しました。



### 本川小学校平和資料館の見学

慰霊碑への献花後、爆心地に最も近い小学校であり、被爆当時の校舎が残され資料館となった、本川小学校平和資料館を見学しました。被爆した校舎、被爆後の学校の再開など興味深い展示が多く、当時の様子に思いを馳せながら見学する参加者の眼差しが印象的でした。

## 〇終わりに

例年と同じく厳しい暑さに加え、台風の影響が心配される中で行われた旅でしたが、参加者及び関係者の皆さまのご協力により、無事に全行程を終えることができました。実際に目で見て、肌で感じ、考え、より一層大きくなったそれぞれの平和への想いを感じながら帰路につきました。



## 被爆体験者による講話

講師 きりあけ 切明 ちえこ 千枝子さん

日時 令和元年8月5日（月） 午後5時～午後6時30分

### 切明さんについて

切明千恵子さんは、昭和4年（1929年）11月に生まれました。

被爆時は、高校4年生（現在の高校1年生）で、広島地方専売局のたばこ工場に動員されていました。切明さんは、聖橋付近の物陰で被爆し、命は助かりましたが、しばらくしてから頭髪は抜け、紫斑や血便、高熱が出る症状に苦しんだそうです。



### 被爆直後の悲惨な状況



切明さんが通っていた学校は、宇品港の近くで、被爆中心部から離れていたため、破壊されましたが消失は免れました。学校に戻ってきて被爆した下級生たちの顔は腫れあがり、髪の毛は逆立ちチリチリになり、指先からは真っ黒いわかめのような皮膚が垂れ下がり、足首からは黒い皮膚を引きずりながら歩いており、全身やけどの裸同然の姿でした。切明さんは、ほぼ全

員の下級生の顔を知っていましたが、誰が誰だかわからなかったそうです。

先生は、皆をいたわりながら、黒いわかめのような皮膚をちぎり取ると、その生徒は小さな消え入るような声で「ありがとうございました。」とお礼を言っていた光景をよく覚えていると話してくれました。

切明さんは下級生を看病していましたが、うっかり彼らに触れると肉も皮膚も一緒に取れてしまうので、声で励ますことしかできなかったそうです。

学校には医者も薬も全くなかったため、家庭科室にあった菜種油を体に塗ってあげることしかできず、下級生たちは苦しみながら、次々と亡くなりました。

遺体はすぐに校庭の隅で火葬しました。壊れた校舎の材木を使い、泣きながら生徒が行いました。遺骨は、家族のために校内に安置しましたが、全員が亡くなった家庭が多く、誰も探しに来てもらえない遺骨もたくさんあったそうです。

原爆による業火が収まったまちの川は死体で埋め尽くされ、歩くのに死体を

またがなければ先に進めなかったと切明さんは話します。

平和記念公園がある場所は、特に被爆被害がひどく、片付けることもできない状態で、火葬した遺体をそのまま川に流したり、埋めたりするしか方法がなかったため、行政はがれきや被爆者の遺骨の上に土を盛り植樹するしかなかったと言います。ある日、石につまずいたとおもったら、うずくまり真っ黒に炭化した幼い子供だったこともあったと、当時の筆舌に尽くしがたい悲惨な状況を、切明さんは静かに語ります。

その時の悲しみを今でも思い出し、誰にも弔われることなく、そのまま土に還っていった人がどれだけいたことだろうと、切明さんは話します。切明さんにとって、広島は白骨の上に成り立っていて、今建てられているビルたちは墓石に、平和記念公園は墓地に見えてならないそうです。

### 「平和で天寿を全うできる世の中にしてほしい」という願い

うっかりすると戦争がいつの間にか忍び込んでくるので、私たちは目を光らせ平和を守り捕まえていなくてはならない、二度と広島や長崎のようなことがあってはならない、と、切明さんは力強く語ります。

切明さんは参加者たちに、出来る範囲で「平和を守る」ために力を使ってほしいと伝えました。「平和」は座っていてもやって来ないもの。本気で一生懸命に守っていかないといけないもの。少しでもよいから今日の話をおぼえてはならないこととして、戦争を知らない若い人たちに伝えてほしいと、語りかけました。

次世代へ平和のバトンをつなぐため、目にした当時の惨状を語り、平和の大切さ、尊さを説く切明さんの話を、参加者は真剣なまなざしで聞いていました。





## 主な見学先ガイド

### ●平和記念公園

戦後、世界の恒久平和の願いを込めて、この記念公園が建設されました。公園内には、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館などの施設や、原爆死没者慰霊碑をはじめとするモニュメントがあります。



### ●広島平和記念資料館

戦後、世界の恒久平和の願いを込めて、この記念公園が建設されました。公園内には、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館などの施設や、原爆死没者慰霊碑をはじめとするモニュメントがあります。



### ●原爆ドーム

チェコの建設家ヤン・レツルの設計により、大正4年（1915年）に開館したこの建物は、被爆前は「広島県産業奨励館」でした。原爆は、ここから南東160mの上空約580mで炸裂し、建物は廃墟の残骸となりました。平成8年（1996年）、ユネスコの世界遺産に登録されました。



### ●原爆死没者慰霊碑（公式名：広島平和都市記念碑）

平和記念公園のほぼ中央にあるこの慰霊碑は、原爆犠牲者の霊を雨露から守る願いを込めて、家型ハニワに設計されました。石室には、原爆死没者名簿が納められています。



### ●原爆の子の像

この像は、原爆性白血病により12歳で亡くなった佐々木禎子さんの霊を慰め、世界平和をよびかけるため、昭和33年（1958年）に建設されました。たくさんの千羽鶴が捧げられています。



### ●本川小学校平和資料館

爆心地にもっとも近い学校として、原爆の被害を受けた状態をそのまま残し、被爆の「証」として保存されています。「展示室」には、被害の様子が載った写真や、被爆した遺物があります。



# 広島平和記念公園 周辺ガイドMAP

## 平和記念公園 周辺ガイドMAP

市民球場前バス停 1 市民球場

原爆ドーム前電停

<ul style="list-style-type: none"> <li>1 世界の子どもの平和像</li> <li>2 鈴木三重吉文学碑</li> <li>3 旧相生橋碑</li> <li>4 中国四国土木出張所職員殉職碑</li> <li>5 広島県地方木材統制(株)慰霊碑</li> <li>6 原爆ドーム</li> <li>7 原民喜詩碑(佐藤春夫の詩碑の記)</li> <li>8 動員学徒慰霊塔</li> <li>9 広島市道路元標</li> <li>10 花時計</li> <li>11 原爆の子の像</li> <li>12 平和の石塚</li> <li>13 平和の時計塔</li> <li>14 遭難横死者慰霊供養塔</li> <li>15 原爆供養塔</li> <li>16 平和の鐘</li> <li>17 平和の石燈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>18 韓国人原爆犠牲者慰霊碑</li> <li>19 被爆した墓石(慈仙寺跡の墓石)</li> <li>20 平和の泉</li> <li>21 平和乃観音像</li> <li>22 常夜燈</li> <li>23 義勇隊の碑</li> <li>24 広島二中原爆慰霊碑</li> <li>25 広島国際会議場</li> <li>26 広島国際会議場</li> <li>27 広島市商・造船工業学校慰霊碑</li> <li>28 慈母の像</li> <li>29 原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑</li> <li>30 平和の像(若葉)湯川秀樹歌碑</li> <li>31 友愛碑</li> <li>32 平和の門</li> <li>33 旧天神町南組慰霊碑</li> <li>34 広島市立高女原爆慰霊碑</li> <li>35 マルセル・ジュノー博士記念碑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>36 ノーマン・カズンズ氏記念碑</li> <li>37 朝鮮民主主義人民共和国帰国記念時計</li> <li>38 平和記念ポスト</li> <li>39 平和の塔</li> <li>40 嵐の中の母子像</li> <li>41 祈りの泉</li> <li>42 平和記念資料館(本館)</li> <li>43 平和記念資料館(東館)</li> <li>44 (資料館東館内)ローマ法王平和アピール碑</li> <li>45 被爆したアオギリ</li> <li>46 全損保の碑</li> <li>47 峠三吉詩碑</li> <li>48 被爆したハマユウ</li> <li>49 材木町跡碑</li> <li>50 原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑)</li> <li>51 平和祈念像(草野心平の詩碑)</li> <li>52 菩提樹の碑</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>53 平和の灯</li> <li>54 祈りの像</li> <li>55 平和の池</li> <li>56 旧天神町北組慰霊碑</li> <li>57 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館</li> <li>58 レストハウス(観光案内所・売店)</li> <li>59 広島郵便局職員殉職碑</li> <li>60 平和祈念碑</li> <li>61 原爆犠牲建設労働者・職人之碑</li> <li>62 「平和の祈り」句碑</li> <li>63 原爆犠牲ヒロシマの碑</li> <li>64 石炭関係原爆殉難者慰霊碑</li> <li>65 広島瓦斯(株)原爆犠牲者追憶之碑</li> <li>66 広島県農業会原爆物故者慰霊碑</li> <li>67 毛髪碑</li> <li>68 被爆動員学徒慰霊慈母観音像</li> </ul>		

観光のお問い合わせ: 広島市観光案内所 電話:082-247-6738 / ファクス:082-247-6917 [www.hiroshima-navi.or.jp](http://www.hiroshima-navi.or.jp)